

2021年12月期第3四半期 決算説明会資料

2021年11月5日

ローランド株式会社



独自の立体音響テクノロジーを採用した完全ワイヤレスのヘッドホン型ベースアンプ『WAZA-AIR BASS』
本体（中央）とトランスミッター（右）

今回発表のポイント

- 2021年12月期 通期業績予想は、**大幅増収(YoY +23%)の上方修正予想を維持**
- 新しいLife Styleの定着による**高い電子楽器需要は継続**
- マレーシア工場は**想定以上の稼働回復**
- 調達、輸送、コスト面の状況は厳しさが継続

1

2021年12月期 第3四半期 決算概要

2

2021年12月期 通期業績予想

3

補足資料

1

2021年12月期 第3四半期 決算概要

2

2021年12月期 通期業績予想

3

補足資料

第3四半期 決算のポイント

売上高

606億円

(対前期比 **+31.0%**)

- 堅調な電子楽器需要は継続。**全地域、主要カテゴリーで好調**
- コロナ影響による供給制約により、前四半期末から受注残は30億円増加
- 上半期の積極的な生産、販売が奏功し、**前期比は大幅増**

営業利益

96億円

(対前期比 **+77.8%**)

- 原材料や海上輸送費の高騰が継続も、増収効果や価格適正化により**大幅な営業増益**
- 販管費率も前期比-6ptと**大幅な改善**

四半期純利益¹

77億円

(対前期比 **+132.4%**)

- 税費用の減少²約6億円を計上
- 営業外損益は概ね前期水準

¹ 四半期純利益は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指す

² 主として、米国子会社再編（V-MODAをRoland U.S.が吸収合併）による、繰延税金資産の計上

第3四半期 連結業績

(単位: 百万円)	2020年12月期 3Q ¹		2021年12月期 3Q ²		
	実績	売上比	実績	売上比	前期比
売上高	46,321	100.0%	60,668	100.0%	+31.0%
売上総利益	22,432	48.4%	28,130	46.4%	+25.4%
販管費	16,996	36.7%	18,465	30.4%	+8.6%
営業利益	5,435	11.7%	9,664	15.9%	+77.8%
四半期純利益 ³	3,331	7.2%	7,741	12.8%	+132.4%

1 2020年12月期3Qの為替レート 米ドル/円：107.60、ユーロ/円：120.94、ユーロ/米ドル：1.124

2 2021年12月期3Qの為替レート 米ドル/円：108.50、ユーロ/円：129.87、ユーロ/米ドル：1.197

3 四半期純利益は、「親会社株主に帰属する四半期純利益」を指す

第3四半期 製品別売上高

(単位: 百万円)	2020年12月期 3Q		2021年12月期 3Q				状況
	実績	構成比	実績	構成比	前期比	実質前期比 ¹	
鍵盤楽器	12,720	27.5%	18,584	30.6%	+46.1%	+40.0%	ポータブルタイプの電子ピアノが引き続き好調
管打楽器	10,252	22.1%	14,524	23.9%	+41.7%	+35.6%	Vドラム・アコースティック・デザインシリーズ、電子管楽器全般が好調
ギター関連機器	12,330	26.6%	14,782	24.4%	+19.9%	+15.2%	コンパクトエフェクターの記念モデルや定番製品などが貢献 ギターアンプに加え、楽器用アンプ、屋外使用向けアンプも好調
クリエイション関連機器 & サービス	6,175	13.3%	7,706	12.7%	+24.8%	+20.8%	88鍵盤のシンセサイザーやステージピアノが好調 ダンス&DJ関連製品では、新製品が貢献
映像音響機器	3,214	7.0%	3,127	5.2%	-2.7%	-4.9%	ステイホームを契機とした個人の配信需要が一巡。競合他社製品の 影響あるが、価格政策、製品バージョンアップ等に対応中
その他	1,628	3.5%	1,943	3.2%	+19.4%	+15.1%	コロナ影響により、引き続きカラオケ機材向けOEM販売は低調 楽器関連アクセサリ(ケーブル等)は好調
合計	46,321		60,668				

第3四半期 地域別売上高

単位：百万円	2020年12月期 3Q		2021年12月期 3Q				状況
	実績	構成比	実績	構成比	前期比	実質 ¹ 前期比	
日本	6,818	14.7%	7,399	12.2%	+8.5%	+8.5%	マレーシア工場稼働制限の影響はあるものの、電子ピアノ、ビデオ関連製品の販売が好調。ワクチン接種率の増加とともに店舗集客も改善。
北米	14,599	31.5%	19,809	32.7%	+35.7%	+33.4%	電子ピアノ、電子ドラム、楽器用アンプ、エフェクター等、幅広い商品群でオンライン中心に販売好調。港湾混雑により供給遅延が発生しているものの、ワクチン接種が進み、規制緩和により店舗販売も復調。
欧州	15,012	32.4%	19,061	31.4%	+27.0%	+19.1%	海上輸送リードタイム長期化により製品供給に影響はあるものの、鍵盤楽器、電子ドラム、ギター関連製品等、オンライン販売を中心に好調。
中国	4,253	9.2%	6,092	10.1%	+43.2%	+32.0%	前年同期間のロックダウン下の状況から改善。学習塾規制による間接的な影響も発生しているが、教育需要を中心に電子ドラムが回復。鍵盤楽器、楽器用アンプ、電子管楽器の販売も好調。
その他	5,637	12.2%	8,306	13.6%	+47.4%	+40.9%	ロックダウンによる行動制限が状況を左右する不安定な状況であるが、東アジアを中心に電子ピアノ、電子ドラムが販売好調。
合計	46,321		60,668				

1 為替影響を除外した比較

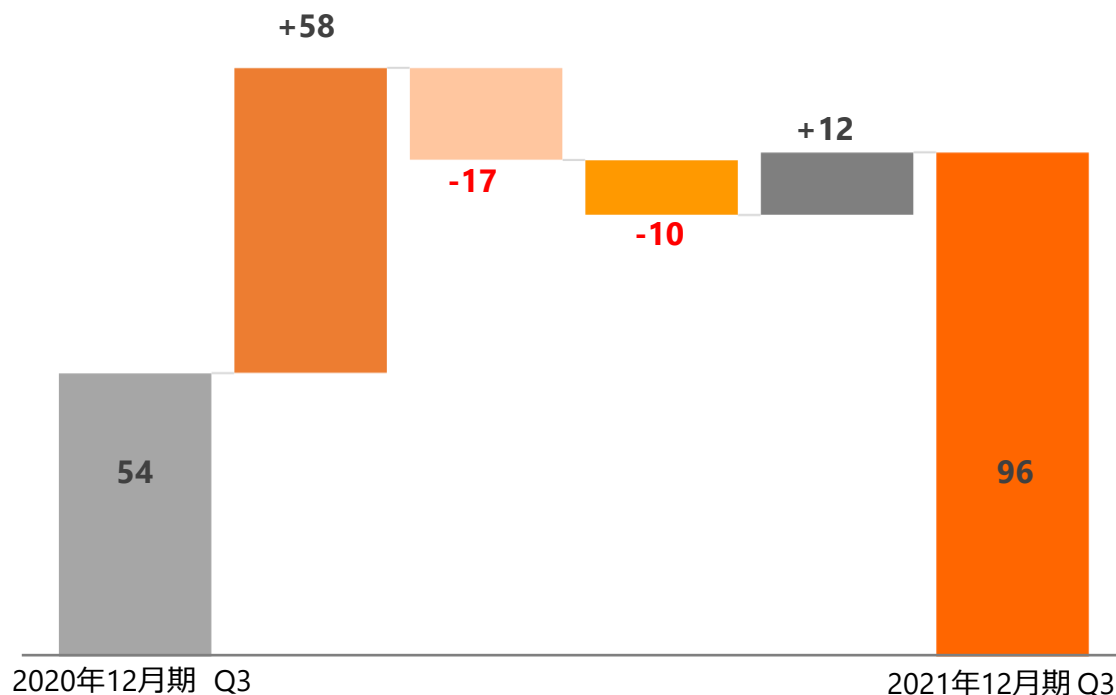
第3四半期 連結営業利益

増減 (対前期比)

要因

- 増収効果
- 利益率変化
- 販管費増減
- 為替影響

(億円)



- **増収効果**
 - ✓ 増収に伴う売上総利益の増加
- **利益率変化**
 - ✓ 原材料費、海上輸送費が大幅に高騰
 - ✓ モデルミックスの変化(低価格帯電子ピアノが好調)
 - ✓ 価格適正化(1Q、3Q実施、**来期より通年寄与**)
- **販管費増減**
 - ✓ 人員増・利益増に伴う人件費の増加
 - ✓ 売上増に伴う物流費の増加
 - ✓ 広告販促費の増加
(販管費率は前期比6pt改善)

1

2021年12月期 第3四半期 決算概要

2

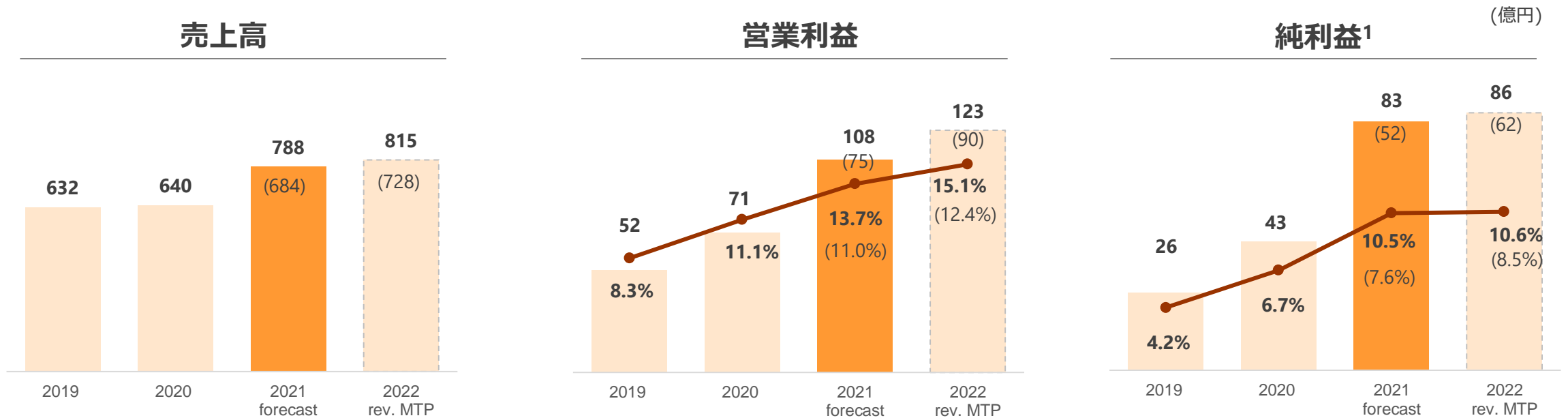
2021年12月期 通期業績予想

3

補足資料

通期では、コロナ前と比べ増収増益が継続見込み

- 新しいLife Styleの定着により、**電子楽器需要は好調が続く見込み**
- 今期の深刻な供給課題、コスト増も適切にマネージし、**上方修正後の通期目標を達成見込み**
- 供給課題はあるが、堅調な需要を背景に、**2022年以降も増収増益を目指す**



※カッコ内は上方修正前数値

2019年12月期の為替レート 米ドル/円：109.06、ユーロ/円：122.11、ユーロ/米ドル：1.120
 2021年12月期の為替レート 米ドル/円：105.98、ユーロ/円：127.18、ユーロ/米ドル：1.200

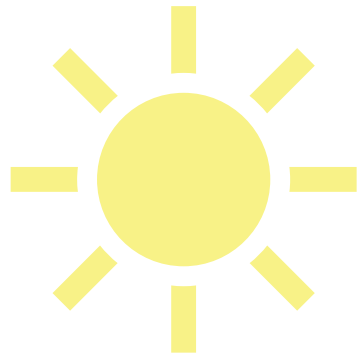
2020年12月期の為替レート 米ドル/円：106.83、ユーロ/円：121.85、ユーロ/米ドル：1.141
 2022年12月期の為替レート 米ドル/円：106.00、ユーロ/円：127.00、ユーロ/米ドル：1.198

1 純利益は「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す

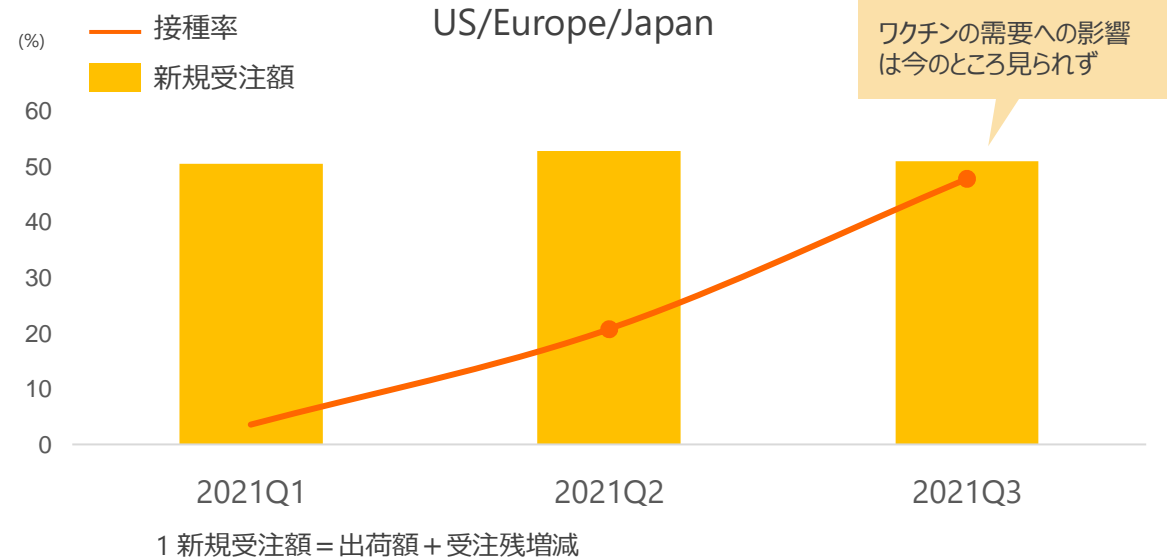
コスト増および供給課題は長期化も、需要は高いレベルで継続

需要

新しいLife Styleの定着により、
ワクチン接種が進んだ後も**堅調な需要は継続**



＜ワクチン接種率と新規受注額¹の推移＞



供給

- 調達リードタイム長期化

- マレーシア工場フル稼働再開
- 中国工場での鍵盤量産開始



- 海上輸送コンテナ需給ひっ迫
- 輸送リードタイム長期化

コスト

- 原材料価格高騰

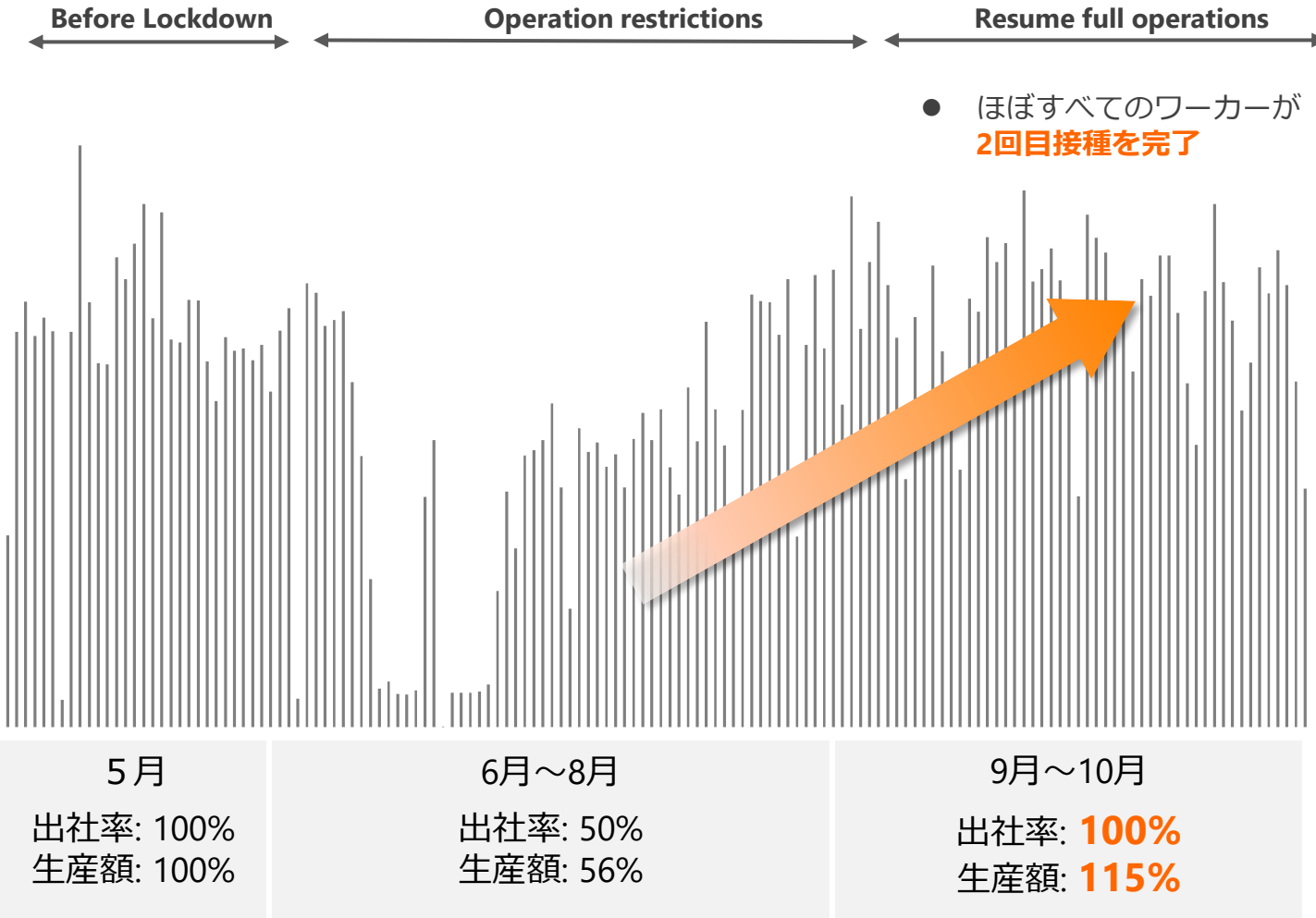
- 海上輸送費高騰継続

施策を加速することで、通期業績予想の達成を見込む

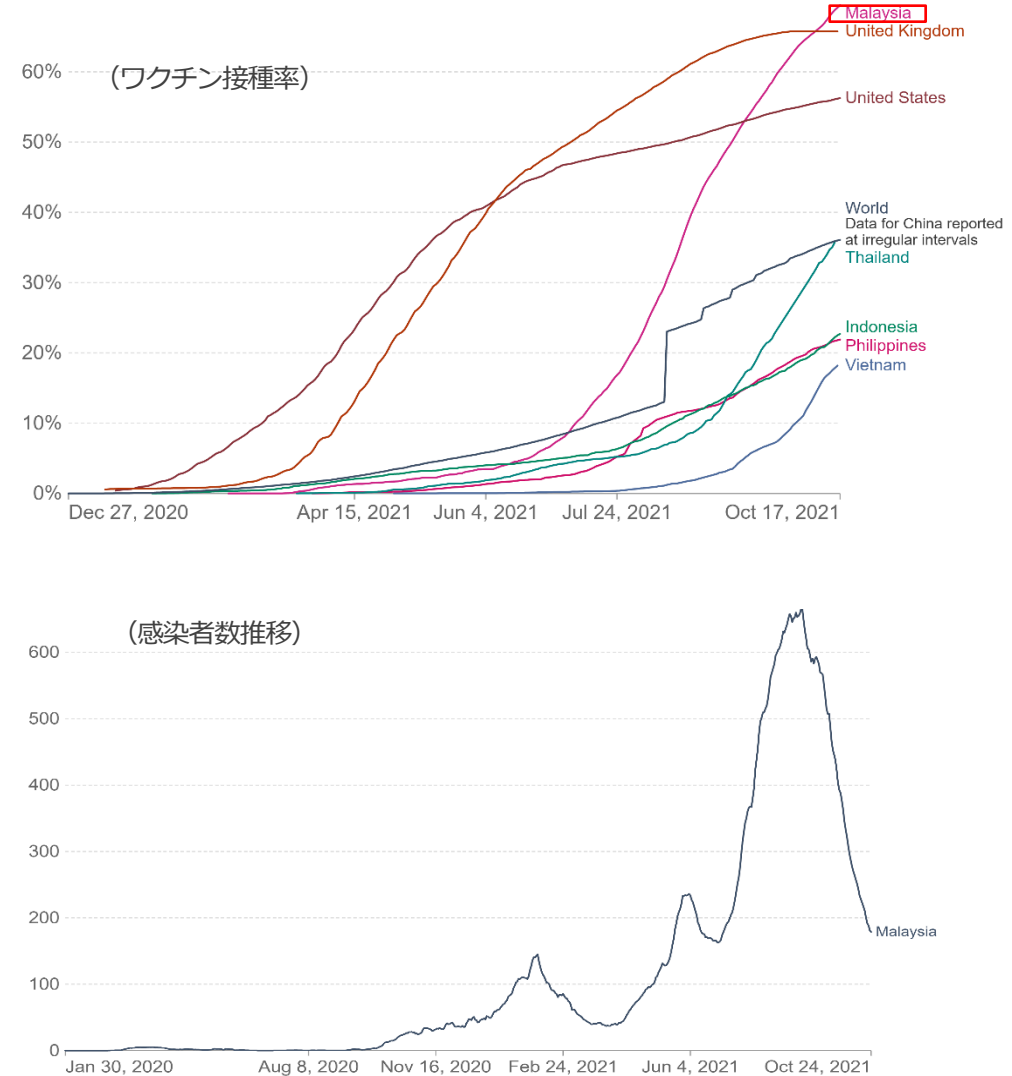
Q3Q4取り組み	進捗	状況と見通し
生産キャッチアップ		<ul style="list-style-type: none">・マレーシア工場では生産キャッチアップを実現中・中国工場は11月より鍵盤量産開始、徐々に生産量を拡大
価格適正化		<ul style="list-style-type: none">・今期2回目の価格適正化は成功裏に実行済（効果は来期からフルに寄与）・来期以降の価格適正化も柔軟に検討
経費の更なる削減		<ul style="list-style-type: none">・広告販促費を中心に3億程度の削減を実施予定・通期業績予想には未反映

マレーシア状況は安定化、工場稼働はV字回復

当社の日別生産高 (5-10月)



マレーシア状況¹



通期連結業績予想

- 3Q決算での税費用減少を反映し、当期純利益を**77億** ⇒ **83億**へ上方修正

(単位: 百万円)	2020年12月期 ¹		2021年12月期 ²		
	実績	売上比	予想	売上比	前期比
売上高	64,044	100.0%	78,800	100.0%	+23.0%
売上総利益	30,379	47.4%	36,200	45.9%	+19.2%
販管費	23,264	36.3%	25,400	32.2%	+9.2%
営業利益	7,115	11.1%	10,800	13.7%	+51.8%
当期純利益 ³	4,301	6.7%	8,300	10.5%	+92.9%

1 2020年12月期の為替レート 米ドル/円：106.83、ユーロ/円：121.85、ユーロ/米ドル：1.141

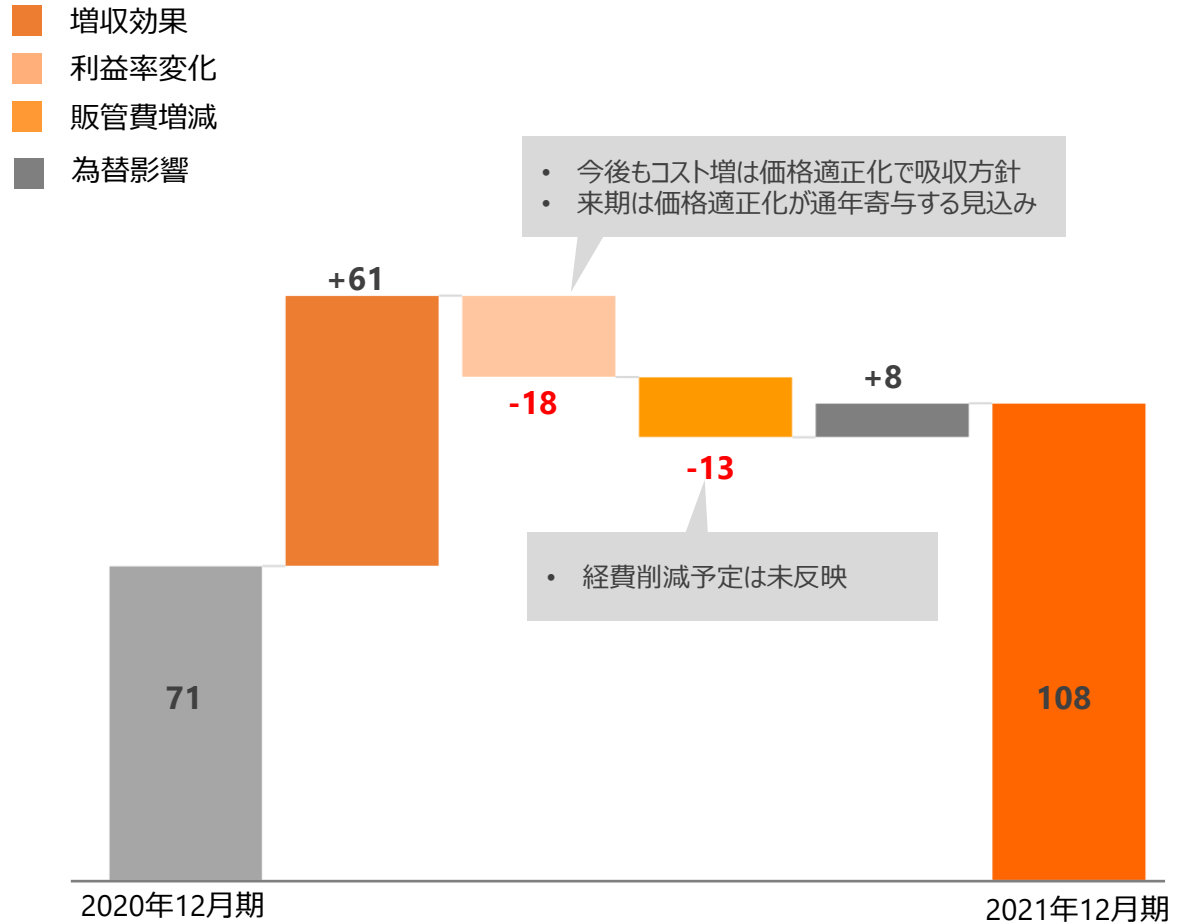
2 2021年12月期の想定為替レート 米ドル/円：105.98、ユーロ/円：127.18、ユーロ/米ドル：1.200

3 当期純利益は、「親会社株主に帰属する当期純利益」を指す

通期連結営業利益予想

増減 (対前期比)

要因



増収効果

- ✓ 増収に伴う売上総利益の増加

利益率変化

- ✓ 原材料費、海上輸送費が大幅に高騰
- ✓ モデルミックスの変化(低価格帯電子ピアノが好調)
- ✓ 価格適正化(1Q、3Q実施)、**来期より通年寄与**

販管費増減

- ✓ 人員増・利益増に伴う人件費の増加
- ✓ 売上増に伴う物流費の増加
- ✓ 広告販促費の増加
(販管費率はコロナ前の2019年比で**7.3pt改善**)

1

2021年12月期 第3四半期 決算概要

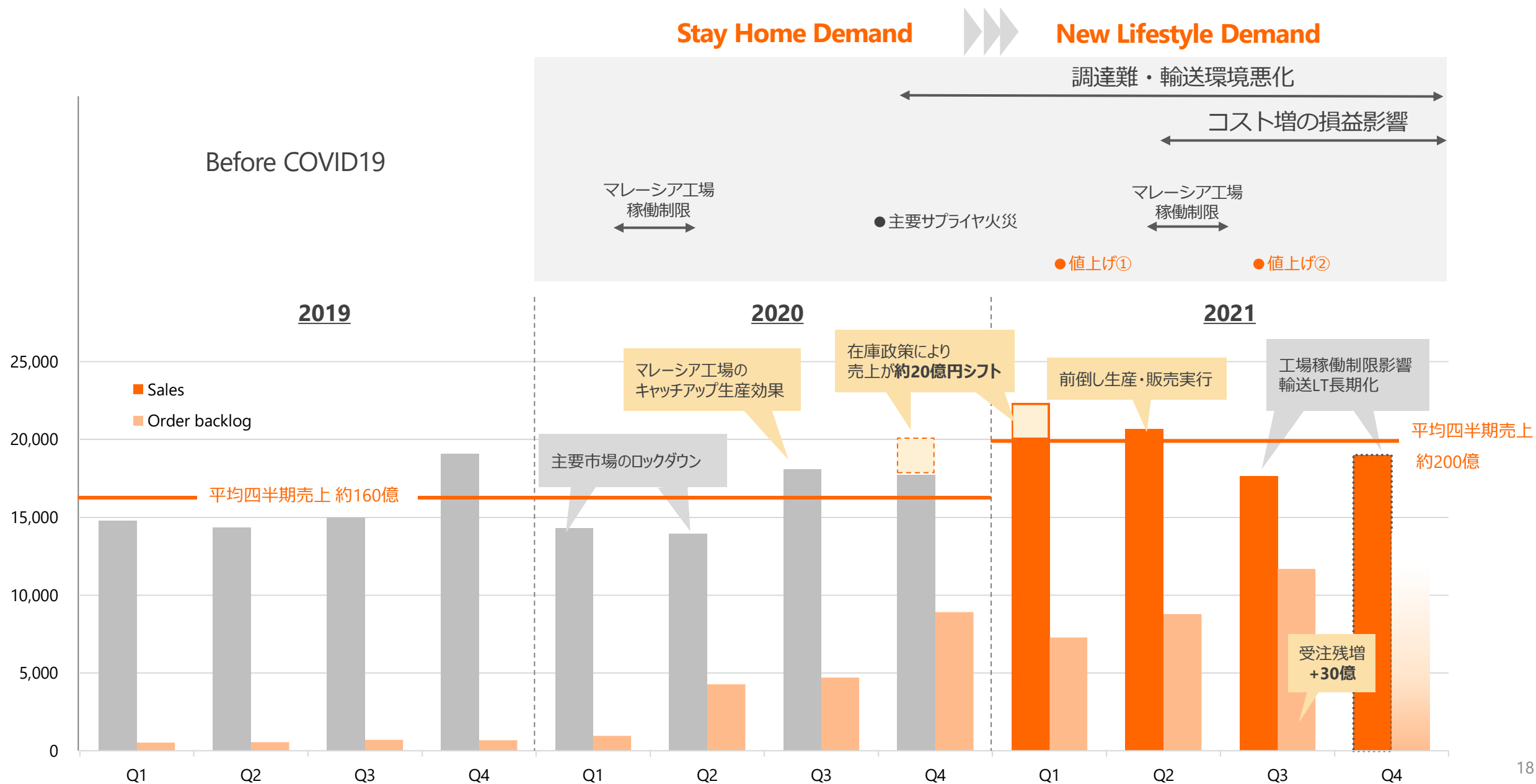
2

2021年12月期 通期 業績予想

3

補足資料

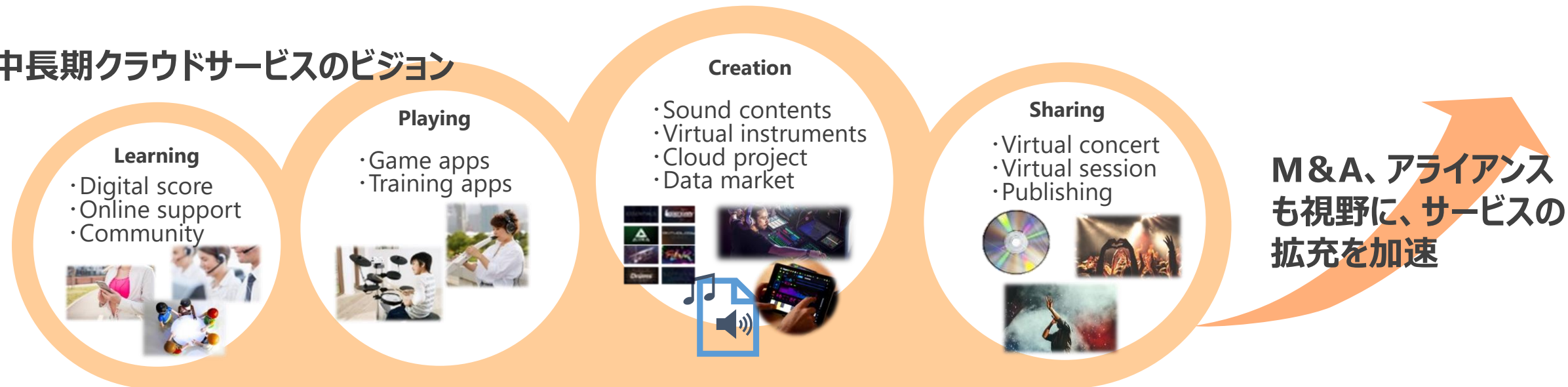
供給課題あるも、コロナ前比で強い需要は継続



Roland Cloudビジネスの進捗

- これから音楽を始めたい**ポテンシャルカスタマー**へも、音楽を楽しむためのトータルソリューションを提供
- 音楽を楽しむまでの様々な「壁」を取り除く**ソリューションプロバイダー**への転換を目指す

中長期クラウドサービスのビジョン



	2019年12月末時点	2020年12月末時点	2021年9月末実績
有料会員数	約 8,000	約 13,000	約 16,100
(参考) Roland Cloud Account ¹ 数		約 103,000	約 155,000

- 音楽制作者層のみならず、**楽器演奏者層**へのサービスを追加予定
- スマホ、タブレット等、**Mobile Device**への対応を強化

1 Roland Cloudのサービスを利用する目的で作成されたRoland Account

通期製品別売上高予想

単位：百万円	2020年12月期		2021年12月期			
	実績	構成比	予想	構成比	前期比	実質 ¹ 前期比
鍵盤楽器	17,842	27.9%	24,500	31.1%	+37.3%	+33.5%
管打楽器	14,620	22.8%	19,100	24.2%	+30.6%	+27.3%
ギター関連機器	16,712	26.1%	18,700	23.7%	+11.9%	+9.3%
クレーション関連 機器&サービス	8,010	12.5%	9,900	12.6%	+23.6%	+21.5%
映像音響機器	4,597	7.2%	4,000	5.1%	-13.0%	-14.3%
その他	2,261	3.5%	2,600	3.3%	+15.0%	+12.9%
合計	64,044		78,800		+23.0%	+20.2%

通期地域別売上高予想

単位：百万円	2020年12月期		2021年12月期			
	実績	構成比	予想	構成比	前期比	実質 ¹ 前期比
日本	9,066	14.2%	9,500	12.1%	+4.8%	+4.8%
北米	19,963	31.2%	26,200	33.2%	+31.2%	+30.5%
欧州	21,027	32.8%	24,900	31.6%	+18.4%	+13.3%
中国	6,304	9.8%	7,900	10.0%	+25.3%	+16.3%
その他	7,682	12.0%	10,300	13.1%	+34.1%	+32.9%
合計	64,044		78,800		+23.0%	+20.2%

1 為替影響を除外した比較

主要連結財務数値(PL/指標/BS)

(単位: 百万円)	2020年12月期 3Q	2021年12月期 3Q	(単位: 百万円)	2020年12月期 期末	2021年12月期 3Q末
売上高	46,321	60,668	現金及び預金	10,832	8,787
売上原価	23,888	32,538	受取手形及び売掛金	5,930	8,331
売上総利益	22,432	28,130	たな卸資産合計	18,075	22,288
販売費及び一般管理費	16,996	18,465	その他流動資産	1,220	1,068
営業利益	5,435	9,664	流動資産合計	36,058	40,476
営業外損益	-618	-728	有形固定資産合計	5,761	5,957
経常利益	4,816	8,936	のれん	22	20
特別損益	-423	218	その他固定資産	4,254	4,573
税金等調整前四半期純利益	4,392	9,154	固定資産合計	10,038	10,552
法人税等合計	1,059	1,411	資産合計	46,096	51,028
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,331	7,741	支払手形及び買掛金	5,228	6,824
EBITDA	6,552	10,862	短期借入金	138	—
D/Eレシオ	0.5x	0.3x	1年内返済予定の長期借入金	3,935	1,252
自己資本比率	41.6%	51.5%	その他流動負債	7,678	7,273
Debt / EBITDA ¹	1.2x	0.5x	長期借入金	5,762	6,135
ROE ¹	23.5%	41.4%	その他固定負債	3,203	3,001
フリー・キャッシュ・フロー ²	4,662	3,661	負債合計	25,945	24,486
FCFコンバージョン	139.9%	47.3%	純資産合計	20,151	26,542
			負債純資産合計	46,096	51,028

¹ Debt/EBITDAおよびROEは年換算値

² フリー・キャッシュ・フローは営業キャッシュ・フローと投資キャッシュ・フローの合計

将来見通しに関する注意事項

本資料はローランド株式会社の「将来予想に関する記述に該当する情報」が記載されています。本資料における記述のうち、過去または現在の事実に関するもの以外は、将来予測に関する記述に該当します。これら将来予測に関する記述は、現在入手可能な情報に鑑みてなされた当社の仮定および判断に基づくものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。これには既知または未知のリスクおよび不確実性ならびにその他の要因が内在しており、実際の業績と大きく異なる可能性があります。実際の業績に影響を及ぼす可能性がある要因には、当社の事業を取り巻く経済情勢、需要動向、為替相場の変動等が含まれます。